

令和7年度補正予算のEBPM「優良児童劇等公演事業」

課題データ

児童劇をはじめとする文化財に触れる機会が少ない地方の子どもたちやその家族を対象とすることにより、居住地域に影響されない体験機会を創出する必要がある。

事業

優良児童劇等公演事業

令和7年度補正予算：78百万円

「子どもまんなか実行計画2025」において、子どもの道徳、情操等を向上させることや、児童福祉に関する社会の責任を強調し、子どもの健全な育成に関する知識を広めることなどに積極的な効果を持つ児童福祉文化財（※1）を推進していくことが掲げられており、これに基づき具体的な施策に取り組んでいくことが求められている。それを実現する手段の一つとして、子ども家庭審議会が推薦された児童福祉文化財のうち、特別推薦作品（※2）となった「舞台芸術」部門の作品（児童劇）をはじめとする文化財に触れる機会が少ない地方の子どもやその家族を対象として公演することにより、子どもの情操等を向上せしめその生活内容を豊かにする取組みをモデル事業として実施する。
※1 子ども家庭審議会において、児童の福祉の向上を図るため、絵本や児童図書等の「出版物」、演劇やミュージカル等の「舞台芸術」、映画等の「映像・メディア等」の優れた作品を「児童福祉文化財」として推薦している。 ※2 児童福祉文化財のうち特に優れた作品。

※アウトプット、アウトカムの（ ）内は直近の実績値

アウトプット

子どもの健全な育成に関する知識を広めることなどに積極的な効果を持つ児童福祉文化財に触れる機会の創出
(年16回(8ブロック×2回)の公演実施を予定)

短期 アウトカム

児童福祉文化財に触れる機会が少ないと考えられる地方の子どもやその家族(年間4,000人程度を想定)を対象に特別推薦作品となった児童劇等を公演することによる、子どもの情操等の向上及び体験機会の創出

中期 アウトカム

-

長期 アウトカム

子どもやその家族が特別推薦作品である児童劇等に触れる機会を継続的に拡充していくことによる、子どもの情操等の向上及び居住地域に影響されない子どもの体験機会の創出

EBPM指標

子ども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な育成環境の提供

すべての子ども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

目標

子ども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み